

# Nブロック 評定一括マーク請求カード

※現場単位でまとめて1枚のご請求カードでお送り下さい。 ※楷書体でご記入下さい。

## ■ 施工内容

現場名	
所在地	
施主名	
建築施工業者名	
設備施工業者名	
ご購入店	

## ■ ご請求枚数 消防(共住区画)評定マーク

○ 評定マークは、一つの防火対象物(建築物1棟)に1枚です。	KK22-014号(壁)
○ 共住区画とは、消防法施行令別表第1(5)口項に規定されている「寄宿舎、下宿又は、共同住宅」に適用されています。	
枚	

## ■ 施工のご確認

本施工手順書に基づき施工完了された事をご確認の上ご署名下さい。	(印)
---------------------------------	-----

## ■ 送付先

貴社名		
所属部署		ご担当者様
ご住所※1	〒 -	
電話番号	( )	-

※1. 施工現場への送付をご希望の場合は、現場名までご記入下さい。

〈注〉基本的に個別の評定マークは取扱いを行っておりません。  
ご必要の場合は「評定マーク請求カード」で弊社確認後の手配となり、実費をご請求させていただきます。

**日動電工株式会社**

**行**

※上記枠内に下記の最寄りの営業所名をご記入の上、FAXにてお送り下さい。

- |  |  |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電材営業部(大阪) FAX:06-6351-5757  | <input type="checkbox"/> 札幌営業所(札幌) FAX:011-831-8114  |
| <input type="checkbox"/> 関東営業部(東京) FAX:03-5764-3171  | <input type="checkbox"/> 仙台営業所(仙台) FAX:022-204-7709  |
| <input type="checkbox"/> 中部営業部(名古屋) FAX:052-768-1722 | <input type="checkbox"/> 北関東営業所(埼玉) FAX:048-773-5256 |
| <input type="checkbox"/> 九州営業部(福岡) FAX:092-622-1300  | <input type="checkbox"/> 広島営業所(広島) FAX:082-261-8854  |



給水・給湯、冷温水管及びケーブルの  
さや管貫通の防火区画貫通部耐火措置工法

# Nブロック

## 取扱説明書

国土交通大臣認定番号 PS060WL-0250(壁)  
PS060WL-0457(壁)  
消防共住区画評定番号 KK22-014号(壁)

### ■「消防評定一括マーク」について

Nブロックを使用した防火区画貫通部措置工法は、平成17年消防庁告示第4号に規定する耐火性能を有することを(一財)日本消防設備安全センターにより確認(性能評定)されています。特定共同住宅等の壁(特定共住区画)のご使用の際は、必ず性能評定品である旨の表示(評定一括マーク又は評定証票)が必要になります。

当社では消防評定一括マークをご用意しておりますので、製品と同封の請求カードに必要な枚数等をご記入の上、当社までFAXにて送付願います。確認の上、折り返しご請求枚数の「評定一括マーク」をお送り致します。

## 製品情報

	ご注文品番	L1	L2	φA	B	適用さや管(CD管)
	NDSS-NB22	116	180	27.7	72.0	22
	NDSS-NB28			34.2	77.5	28
	NDSS-NB36			42.2	85.5	36

●適用区画：コンクリートまたはALCの壁(厚120~180mm)

●適用配管

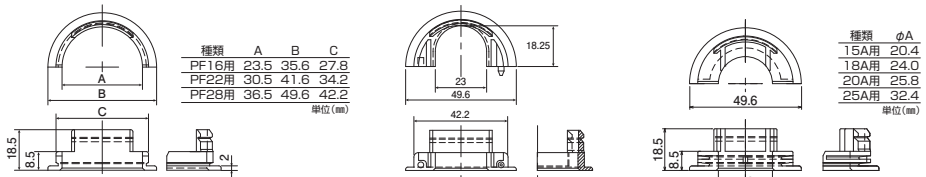
保護の種類	挿入管または挿入ケーブル	最大配管またはケーブルサイズ
なし	ケーブル***	CV600V 38mm <sup>2</sup> ×3C
なし*	ステンレスフレキシブル管(ガスフレキ管)	25A
さや管(CD・PF管) 最大サイズφ42(CD36)	架橋ポリエチレン管	20A
	ポリプロピレン管	
	ポリブテン管	CV600V 38mm <sup>2</sup> ×3C
	ケーブル***	
さや管	アルミ蒸着PETフィルム巻	10A×2本+7A
楕円さや管(CD管)** 最大サイズ36.5×23	ステンレスフレキシブル管(ガスフレキ管)	25A
	アルミ蒸着PETフィルム巻 ペア架橋ポリエチレン管+制御線	10A×2本

\* 専用アダプターを使用してください。

\*\* 楕円さや管を配管する場合は、専用アダプターをNブロック両面に装着してください。

\*\*\* ケーブルの最大導体断面積は114mm<sup>2</sup>です。

関連アダプター (本体1個につき、アダプターは4個必要です)



PF管・さや管25・30用				楕円さや管				ステンレスフレキシブル管(ガスフレキ管)用			
種類	ご注文品番	適用径	対応本体	種類	ご注文品番	適用径	対応本体	種類	ご注文品番	適用径	対応本体
PF16用	NDSS-NBXA-13	φ23.5	22用	NDSS-NBAD	23×36.5	36用		15A用	NDSS-NBGA-15	φ20.4	15A
PF22用	NDSS-NBXA-16	φ30.5	28用					18A用	NDSS-NBGA-18	φ24.0	18A
PF28用	NDSS-NBSA-30	φ36.5	36用					20A用	NDSS-NBGA-20	φ25.8	20A
								25A用	NDSS-NBGA-25	φ32.4	25A

**日動電工株式会社**

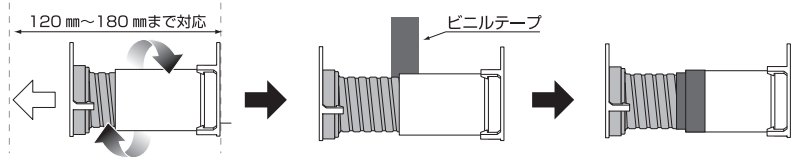
- |   |                     |                  |
|---|---------------------|------------------|
| 電材営業部 〒530-0043 大阪市北区天満1丁目25番17号                | TEL:06-6358-2201(代) | FAX:06-6351-5757 |
| 関東営業部 〒140-0013 東京都品川区南大井5丁目17番9号 東田電気(株)本社ビル3階 | TEL:03-5764-3222(代) | FAX:03-5764-3171 |
| 中部営業部 〒463-0021 名古屋市守山区大森2丁目101番1               | TEL:052-768-1711(代) | FAX:052-768-1722 |
| 九州営業部 〒812-0041 福岡市博多区吉塚3丁目18番23号               | TEL:092-622-1333(代) | FAX:092-622-1300 |
| 札幌営業所 〒003-0813 札幌市白石区菊水1上町3条2丁目52番282          | TEL:011-831-8110(代) | FAX:011-831-8114 |
| 仙台営業所 〒984-0015 仙台市若林区卸町5丁目2番地8                 | TEL:022-204-7707(代) | FAX:022-204-7709 |
| 北関東営業所 〒362-0037 埼玉県上尾市上町1丁目4番1号 関東商工会館ビル3階     | TEL:048-773-5255(代) | FAX:048-773-5256 |
| 広島営業所 〒732-0053 広島市東区若草町9番7号 三共若草ビル3階           | TEL:082-261-8831(代) | FAX:082-261-8854 |

# ■ 施工方法 【コンクリート打設と同時に施工する場合】

(※: モルタル埋戻しをする場合は、認定・評定書の施工方法をご覧ください。)

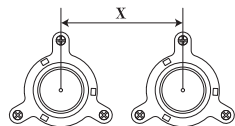
## 1 N ブロックの伸縮

N ブロックを壁厚と同じ幅まで伸ばします。  
長さを調整後、長さが変わらない様にビニルテープで固定します。



## 2 設置間隔

配管サイズ、及び開口部ピッチを考慮して設置して下さい。(国土交通大臣認定及び、消防共住区画評定(住戸と共有部分)における設置間隔は、表の通りです。住戸と住戸間については消防共住区画評定書をご参照下さい。)



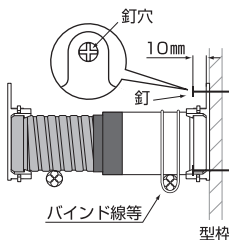
N ブロックの設置

製品	X(mm)以上
NDSS-NB22	105
NDSS-NB28	110
NDSS-NB36	115

【表 1】 N ブロックの設置中心距離 (住戸と住戸間を除く)

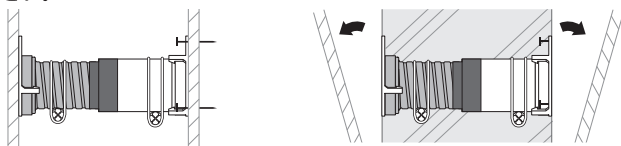
## 3 N ブロックの設置

コンパネ等のコンクリート打設用型枠に貫通開口部の位置を決め、鉄筋にバインド線等で仮固定して型枠に釘等で固定します。釘等は 10mm 程度浮かした状態にして釘穴に打ち込んで下さい。最後にバインド線を軽く締めます。



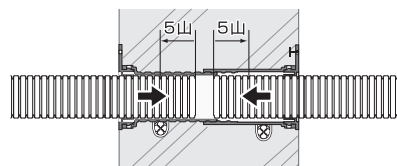
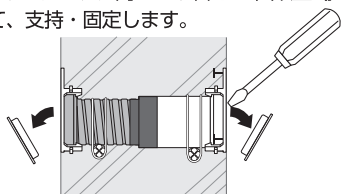
**!** バインド線で固定する際、締めすぎるとNブロックが破損する恐れがあります。

4 反対側のコンクリート打設用型枠を設置します。コンクリートを打設し、乾燥後、型枠を外し壁面と N ブロックの間に隙間がないことを確認して下さい。洲等がある場合は、モルタル等で補修して下さい。



## 5 さや管挿入

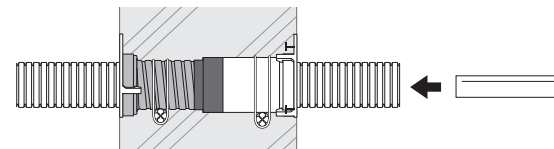
Nブロックのさや管挿入口にあるキャップ(ノロ浸入防止用)をドライバーなどの先のとがったもので外します。Nブロック内にさや管を5山以上(掛かりは3山以上)挿入します。さや管は管同士が当たる様にして、支持・固定します。



さや管端部より5山の部分にマーキング等の目安を付けて挿入して下さい。

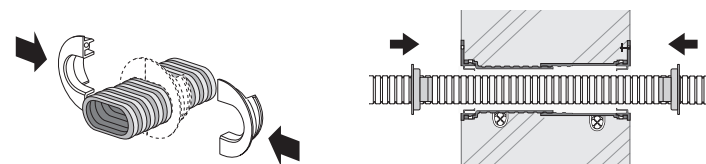
## 6 配管・配線

さや管の挿入後、配管および配線します。



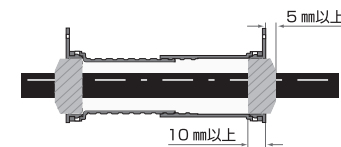
## 7 楕円さや管・ガスフレキ・PF管を使用する場合

配管を切断せずにそのままNブロックに挿入後、2分割の専用アダプター(別売)を合わせ装着し、スライドさせて、さや管受け用ツメにかかるまでしっかりと差し込みます。



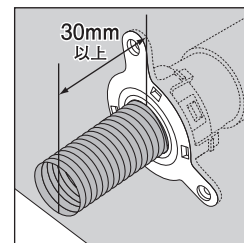
## 8 直接配線

さや管を使用せず配線をする場合はNブロックと電気配線との隙間に壁面から奥行き方向に10mm以上耐火パテを充てんし、壁面より5mm以上耐火パテを盛上げ、Nブロックと電気配線との間に隙間がないことを確認して下さい。

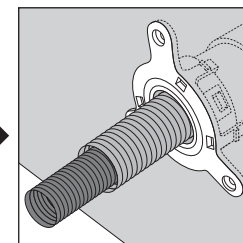


## ※その他の施工方法

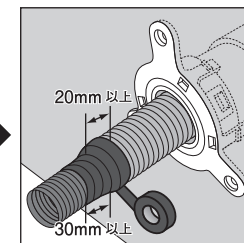
① ウレタン(断熱材)が付着しないようにさや管の中にさや管が配管可能です。



壁面より30mm以上さや管を出します。



さや管の中から径の小さいさや管の配管が可能です。

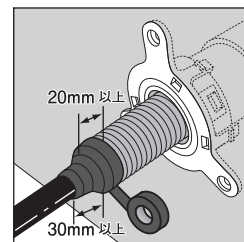


ビニルテープですきまを塞ぎます。

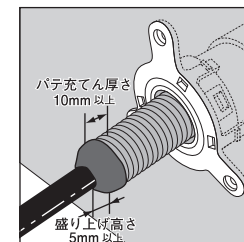
② CD管を途中で切断しケーブルのみ配線できます。

・テープ処理

・パテ処理



CD管を30mm以上配管ビニルテープをケーブル側30mm以上、さや管側20mm以上巻きつける。



CD管を30mm以上配管パテ充てん厚さ10mm以上、盛り上げ高さ5mm以上。